

……発展と夢を乗せ未来に出发「常盤新線」



▶資料館の全景  
写真左が資料館の玄関、右奥が復元保存されている古民家)

市立

## 資料館が完成

開館は11月23日

昭和六十三年六月から工事を進めてきました、「市立資料館」がこのほど完成し、十日に関係者約百人が出席し竣工式を行いました。資料館には、昭和五十年から収集してきた地域の文献や民具などの資料約四万五千点を保存。なお、開館は、半年間の館内乾燥が必要のため十一月二十三日になります。

### 「水と生活」が メインテーマ

市立資料館の外観は、和風建築様式で鉄筋コンクリート二階建て、延べ面積は二〇四九・四平方メートル。総工費は約八億一千四万円です。なお、建設場所は、南後谷七三六番地になります。

一階は、地域の文献や資料の閲覧ができるコミュニケーションフロア、講座やサークル活動ができる学習室があります。

二階は、「水と生活」をテーマに綾瀬川と中川の利水と水害の歴史をパネルや文献で伝える常設展



▲郷土の詩人、土橋治重氏の作品「知恵」がさがされているロビー



▲関係者約百人が参加した竣工式

示室や企画展示室があります。

三階は、市史編さん室が収集した江戸時代の古文書や行政文書などを保存する文書保存庫、美術品や貴重品などを納める特別収蔵庫があります。

また、敷地内には、明治九年に建築された民家(木造平家建て二四五・九平方メートル)を復元保存し、当時の生活をしのばせる農具や家具、調度品などを展示。庭には、「水と生活」を基調とする川と用水の生活環境を再現した、回遊式築山泉水庭園や池、空井戸、工機滝などを配置しています。

市立資料館への問い合わせ  
☎9716666へ